

消化器病学

責任者・コーディネーター		消化器内科消化管分野 松本 主之 教授			
担当講座・学科（分野）		消化器内科消化管分野、消化器内科肝臓分野、外科学講座、医療安全学講座、歯学部口腔医学講座関連医学分野、緩和医療学科、放射線医学講座、病理診断学講座、小児科学講座			
担当教員		松本 主之 教授、滝川 康裕 教授、佐々木 章 教授、肥田 圭介 教授、千葉 俊美 教授、木村 祐輔 特任教授、寺島 雅典 客員教授、中村 昌太郎 准教授、宮坂 昭生 准教授、大塚 幸喜 准教授、新田 浩幸 准教授、黒田 英克 特任准教授、加藤 健一 特任准教授、岩谷 岳 特任准教授、齊藤 慎二 講師、小穴 修平 講師、柿坂 啓介 講師、上杉 憲幸 講師、木村 聡元 講師、梁井 俊一 特任講師、川崎 啓祐 助教、小林 めぐみ 助教、村上 晶彦 非常勤講師、佐々木 美香 非常勤講師、猪股 正秋 非常勤講師、川村 英伸 非常勤講師、池田 健一郎 非常勤講師、大森 浩明 非常勤講師			
対象学年	3	区分・時間数	講義	40コマ	60.0時間
期間	通期		演習	0コマ	0.0時間
			実習	0コマ	0.0時間

・学習方針（講義概要等）

小児および成人における消化管、肝・胆・膵疾患の病因、病理・病態生理、症候、画像、臨床検査、診断・鑑別診断、内科的・外科的治療および予後などについて総合的かつ系統的に学習し、消化器病学全体の診断と治療に関する思考能力を学ぶ。

・教育成果（アウトカム）

1. 小児消化器病学 新生児（胎児）から思春期までに見られる消化器疾患について学ぶことで、各発育期（新生児、乳児、幼児、学童、思春期）に特有の疾患や成人と異なった特徴を有する疾患について、その原因、病態生理、症候、診断・鑑別診断、治療、合併症、予防法を説明できる。
2. 小児消化器外科学 小児の消化管、肝・胆・膵ならびに横隔膜・腹膜・腹壁などにおける外科的疾患について学ぶことで、病因、病態、治療方針、治療成績、予後を理解し説明できる。
3. 成人消化器内科学、消化器外科学、消化器放射線学、分子診断病理学 成人における消化器疾患について学ぶことで、疾患概念、病因、臨床徴候、臨床検査所見、画像所見、診断・鑑別診断および治療法（内科的、外科的）、予後を説明できる。
（ディプロマ・ポリシー： 2,4,5 ）

・到達目標（SBOs）

No.	項目
1	正常新生児における消化器の発達生理を説明できる。
2	小児にみられる消化器症状から鑑別診断を挙げることができる。
3	小児期に特有な先天性疾患、後天性疾患について病態と病因を説明できる。
4	先天性食道閉鎖症、食道狭窄症、乳児肥厚性幽門狭窄症、先天性腸閉鎖・狭窄症、腸回転異常症、腸管重複症、Hirschsprung病、直腸肛門奇形臍帯ヘルニア、腹壁破裂などを説明できる。
5	虫垂炎、腸重積症、鼠径ヘルニアなどを説明できる。
6	胆道閉鎖症、先天性胆道拡張症などを説明できる。
7	食道、胃、小腸・大腸の正常および異常病理組織・画像所見を説明できる。
8	食道、胃、小腸・大腸疾患の病態生理、治療法および予後を説明できる。
9	肝臓、胆道、膵臓の正常および異常病理組織・画像所見を説明できる。

10	肝臓、胆道、膵臓疾患の病態生理、治療法および予後を説明できる。
11	緩和医療を定義できる。
12	がん性疼痛の種類と病態について説明できる。
13	WHO方式がん疼痛治療法を説明できる。
14	鎮痛薬の種類・投与法・代表的な副作用とその対策を説明できる。

・ 講義場所

講義：西1-0講義室

・ 講義日程（各講義の詳細な講義内容、事前・事後学習内容、該当コアカリについてはwebシラバスに掲載）

区分	月日	時限	講座（学科）	担当教員	講義内容	到達目標番号
講義	5/16(木)	1	消化器内科消化管分野	松本 主之 教授	消化器内科学総論	7,8
講義	5/16(木)	2	外科学講座	佐々木 章 教授	消化器外科学総論	7,8,9
講義	5/23(木)	1	病理診断学講座	上杉 憲幸 講師	消化管の基本構造と病理組織学、腫瘍総論	7,8
講義	5/23(木)	2	消化器内科消化管分野	猪股 正秋 非常勤講師	消化管内視鏡総論	7,8,9,14
講義	5/30(木)	1	放射線医学講座	加藤 健一 特任准教授	腹部画像診断の基礎	9
講義	5/30(木)	2	歯学部口腔医学講座 関連医学分野	千葉 俊美 教授	消化管の生理と機能性疾患 (IBS、FD)	7,8
講義	6/6(木)	1	消化器内科消化管分野	齊藤 慎二 講師	消化管の良性器質性疾患	7,8
講義	6/6(木)	2	消化器内科消化管分野	梁井 俊一 特任講師	食道悪性腫瘍の診断と治療	7,8
講義	6/13(木)	1	医療安全学講座	肥田 圭介 教授	外科的治療に必要な胃の局所解剖、胃切除後の合併症	7,8
講義	6/13(木)	2	外科学講座	岩谷 岳 特任准教授	食道癌の外科治療	7,8
講義	6/20(木)	1	消化器内科消化管分野	中村 昌太郎 准教授	胃悪性腫瘍の診断と治療	7,8
講義	6/20(木)	2	外科学講座	寺島 雅典 客員教授	胃腫瘍の外科治療	7,8
講義	10/3(木)	1	外科学講座	佐々木 章 教授	外科治療に必要な食道の局所解剖、食道良性疾患の外科治療	7,8
講義	10/3(木)	2	消化器内科消化管分野	川崎 啓祐 助教	腫瘍性腸疾患の診断と治療 (大腸癌、大腸ポリープ、 消化管ポリポシス)	7,8
講義	10/10(木)	1	消化器内科消化管分野	松本 主之 教授	炎症性腸疾患	7,8
講義	10/10(木)	2	消化器内科肝臓分野	滝川 康裕 教授	肝の構造と生理機能およびその評価法、肝障害の機序	9,10
講義	10/17(木)	1	外科学講座	大塚 幸喜 准教授	炎症性腸疾患の外科治療と肛門疾患	7,8
講義	10/17(木)	2	外科学講座	大塚 幸喜 准教授	外科的治療に必要な大腸の局所解剖、大腸癌の外科治療	7,8
講義	10/24(木)	1	消化器内科肝臓分野	柿坂 啓介 講師	急性肝炎、劇症肝炎	9,10
講義	10/24(木)	2	消化器内科肝臓分野	宮坂 昭生 准教授	ウイルス性慢性肝疾患	9,10

講義	10/25(金)	1	消化器内科肝臓分野	黒田 英克 特任准教授	肝腫瘍の疫学・診断・治療	9,10
講義	10/31(木)	2	消化器内科肝臓分野	滝川 康裕 教授	脂肪性肝疾患,アルコール性肝疾患	9,10
講義	11/7(木)	1	消化器内科肝臓分野	滝川 康裕 教授	自己免疫性肝疾患・薬物性肝障害	9,10
講義	11/7(木)	2	外科学講座	新田 浩幸 准教授	外科的治療に必要な肝の局所解剖、肝腫瘍の外科治療	9,10
講義	11/14(木)	1	消化器内科肝臓分野	村上 晶彦 非常勤講師	膵胆道疾患の主要症状と病態生理	9,10
講義	11/14(木)	2	消化器内科肝臓分野	宮坂 昭生 准教授	肝炎ウイルス関連検査法	10
講義	11/21(木)	1	小児科学講座	佐々木 美香 非常勤講師	小児消化器疾患	9,10
講義	11/21(木)	2	外科学講座	川村 英伸 非常勤講師	外科的治療に必要な膵胆道の局所解剖、膵胆道の外科治療	1,2,3,8,9
講義	11/28(木)	1	消化器内科肝臓分野	滝川 康裕 教授	肝硬変の病因、病理、症候、診断と門脈圧亢進症	9,10
講義	11/28(木)	2	外科学講座	小林 めぐみ 助教	小児消化器外科疾患	1,2,3,4
講義	12/5(木)	1	消化器内科消化管分野	松本 主之 教授	腸管の炎症性疾患と感染症	7,8
講義	12/5(木)	2	放射線医学講座	加藤 健一 特任准教授	腹部画像診断 (各論)	7,9
講義	12/12(木)	1	消化器内科消化管分野	小穴 修平 講師	膵胆道疾患の診断と治療 (膵癌、胆嚢癌、胆管癌)	9,10
講義	12/12(木)	2	消化器内科消化管分野	小穴 修平 講師	膵胆道疾患の診断と治療 (急性慢性膵炎、嚢胞性膵疾患、先天性胆道拡張症、膵胆管合流異常症)	9,10
講義	12/19(木)	1	外科学講座	大森 浩明 非常勤講師	腹部救急疾患	5,7,8,9,10
講義	12/19(木)	2	外科学講座	池田 健一郎 非常勤講師	外科侵襲学・周術期の栄養管理	8,10
講義	12/26(木)	1	外科学講座	木村 聡元 講師	消化器癌と化学療法	8,10
講義	12/26(木)	2	緩和医療学科	木村 祐輔 特任教授	緩和ケア	11,12,13,14
講義	1/9(木)	1	小児科学講座	佐々木 美香 非常勤講師	小児消化器疾患	1,2,3,4,5,6,10
講義	1/9(木)	2	外科学講座	小林 めぐみ 助教	小児消化器外科疾患	1,2,5,6,15

・教科書・参考書等

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年
推薦図書	標準外科学 第15版	北野正剛・田邊 稔・池田徳彦 編集	医学書院	2019
推薦図書	小児科学・新生児学テキスト 全面改訂第5版	飯沼一字ほか編	診断と治療社	2007
推薦図書	標準小児外科学 7版	福澤正洋、高松英夫 監修、上野滋 編集	医学書院	2017
推薦図書	ステップアップ 内視鏡外科手術	佐々木章 編集	医学書院	2012

推薦図書	内科学第11版	矢崎義雄総編集	朝倉書店	2017
参考書	消化器内視鏡ガイドライン第3版	日本消化器内視鏡学会 監修	医学書院	2006
参考書	臨床緩和ケア 第3版	大学病院の緩和ケアを考える会編	青海社	2013
推薦図書	新臨床内科学 第9版	高久史磨他監修	医学書院	2019

・成績評価方法

総括評価：試験成績により評価する。
 形成的評価：講義中に口頭試問や議論形式の評価を行い、学生にフィードバックする。授業参加態度についても評価する。

・特記事項・その他

1. 小児消化器病学
 消化管の発生と発達から、疾患の病態生理を講義する。また、小児消化器疾患の“common diseases”を中心にその基本的知識について、その要点を記載したプリント（A4）を用いて解説する。

2. 小児消化器外科学
 スライド、プリントなどを用いて小児消化器外科疾患の病態生理、診断、治療などを中心に解説する。

3. 成人消化器内科学・消化器外科学・消化器放射線学、分子診断病理学
 スライド、プリントなどを用いて消化器疾患の病態生理、診断、治療などを中心として講義する。

シラバスに記載されている事前学修内容および各回到達目標の内容について、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。なお、適宜、講義・実習冒頭で事前学修内容の発表時間を設け、授業の中で試験やレポートを課す場合は、次回の授業で解説を行う。授業では、医学教育モデル・コア・カリキュラムの内容に留まらず、必要に応じて最新の医学研究成果を教示する。

・教育資源

教科書・参考書・講義室・PC

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノートパソコン MacBook Pro 一式	1	講義にて使用